

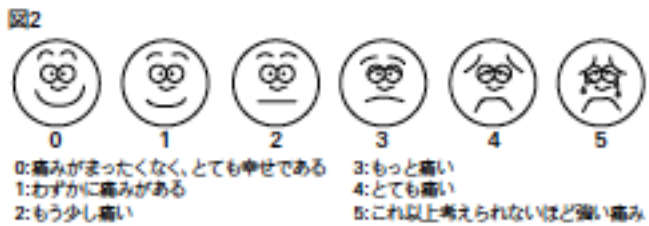
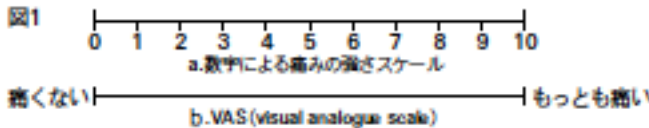


# 香曾我部義則先生の今月のカルテ ③6

## 慢性痛とペインクリニック

■プロフィール こうそかべ・よしのり 昭和54年に岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長に。平成16年から現職。日本麻酔学会専門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が、痛みの治療について分かりやすく説明してくれるコラム。今回は、「痛みを科学する」うえで大切な痛みの評価法についてです。



痛みの原因となる病気  
 ① 痛みの原因となる病気  
 ② 痛みの原因となる病気  
 ③ 痛みの原因となる病気  
 ④ 痛みの原因となる病気  
 ⑤ 痛みの原因となる病気

基準はなく、正確な評価が難しい痛みの度合い  
 治療効果を判定するためにも客観的評価は重要  
 ヒリヒリ、ズキズキ、は、血液検査、レントゲ  
 キリキリ、ズキンズキン、ン写真、CT、MRIな  
 締め付けられる、焼やけ  
 るような、やっかいな、  
 耐え難い、不愉快ななど、  
 痛みの表現はさまざま  
 すが、残念ながら痛みの  
 度合いをすぐ理解できる  
 基準はありません。

次に痛みの強さを表現  
 した図を患者さんが選  
 ぶ、図2のフェイスス  
 ケールがよく使われま  
 す。特に意思疎通が難し  
 い乳児や高齢者の評価に  
 適しています。

動作での評価ではプリ  
 ンスヘンリーペインス  
 ケールが使われます。咳  
 嗽(がいそう)時にも痛  
 みなし(0点)、深呼吸  
 時に痛みはないが、咳嗽  
 時にはある(1点)、安  
 静時には痛みはないが、  
 深呼吸時にはある(2  
 点)、安静時に弱い痛み  
 がある(3点)、安静時  
 に強い痛みがある(4点  
 の0~4点で表します。

梶木病院(西花尻)  
 ☎(2003) 630515(代)